

何する人なん、みんないいん

問い合わせ
福祉グループ ☎
3660011

民生委員は、 住民の様々な

困りごと・心配ごとに関する相談に応じ、適切な支援やサービスへの**つなぎ役**です。

● **誰がどんなときに頼ればいいのか？**

民生委員への相談は、誰でも可能です。民生委員は児童委員も兼ねていて、小さな子どもから高齢者まで、**あらゆる世代の生活上の困りごと・心配ごとの相談に乗ります。**

例えばこんなとき、民生委員に相談してください！

● **秘密は守られる？**

民生委員の活動は、個人の私生活に立ち入ることもあるため、活動上知り得た情報について**守秘義務**が課せられています。この**守秘義務**は、委員退任後も引き続き課せられます。

● **報酬はあるん？**

ボランティア活動であるため、**給与**

はありません。 ただし、

活動に必要な費用（交通費・通信費など）は支給されます。

● **任期は何年？**

3年です。再任も可能です。

◎ **はじまりは岡山、次に大阪**

第一次世界大戦後、産業優先政策の結果、国民生活は不安定になっていました。

大正5年、岡山県の笠井信一知事は、大正天皇から「貧民は如何に活せる乎（いかに暮しているか）」とご下問を受け、すぐに調査すると、県民の1割にあたる約10万人が極貧状態にあることが判明しました。自らの責任の重大さを痛感した笠井知事は、民生委員制度の源となる**済世顧問制度**を完成（大正6年）させました。翌大正7年、後に全国へ普及される**方面委員制度**が大阪で創設されます。林市蔵氏が大阪府知事に着任早々、市民の生活を視察し、その窮状や貧富の差を目の当たりにしたのがきっかけ（その一つが左記のエピソード）でした。

◎ **夕刊売り母子の挿話／林知事の気付き**

大正7年秋の夕暮れ、林知事は、理髪店で鏡越しに見えた夕刊を売る40歳くらいの母親と女の子が気になり、近くの交番巡査にこの家庭の状況を調べさせました。その結果、街角で見かけた母親は、夫が病に倒れ、3人の子どもを抱え、夕刊売りでやつと生計を立てており、子どもたちは学用品も買えず学校にも通っていないことがわかりました。知事は自らの幼い頃の貧しい生活を思い起こすと同時に、このような母子はほかにもいるはずだと考え、救済・防貧制度の必要性を痛感したと伝えられています。

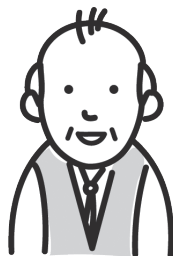
よく聞く泣き声。虐待でなければいいけど・・・



親の介護で疲れてしまったわ・・・



高齢者向けサロンの活動に参加してみたなあ



子育て支援に携わってみたい！



ひとりで子育ては不安。誰かに助けてほしい・・・



隣のおばあちゃん最近見ないけど大丈夫かな？



●どんな人が民生委員になるん？

市町村ごとに設置される推薦会において選任され、厚生労働大臣から委嘱を受けた特別職の地方公務員が民生委員です。

民生委員になった理由は、「定年後に時間ができたから」「主婦業をしながら地域の人手とながりたい」「ボランティア活動に参加してみたい」など様々。各々ができる範囲で無理なく活動にあたっています。

✓ 市内で活躍する民生委員の皆さんを6・7ページで紹介しています！
要チェックですッ

💡 5月12日は民生委員・児童委員の日

昭和52年、民生委員制度創設60周年を期して、岡山県済世顧問制度設置規定が公布された5月12日（大正6年）を「民生委員・児童委員の日」に決めました。また、5月12日からの1週間を活動強化月間としています。

💡 全国民生委員児童委員連合会の初代会長は洪沢栄一

救護法（生活保護法の前身）実施に向け、病氣療養中にもかかわらず、内務大臣や大蔵大臣に面談するなど、情熱を注いだ中央社会事業協会（社会福祉協議会の前身）会長でもあった実業家の洪沢栄一氏が、初代会長に推挙されました。

【参考・引用】全国民生委員児童委員連合会「地域とともに 民生委員制度の100年」（2017年）、「あなたのまちの民生委員・児童委員」（2018年）

民生委員 PR 動画



民生委員 CM
(公社)ACジャパン



民生委員ラップ
全国民生委員児童委員連合会



何が原動力なん、みんないいん

できる範囲で一つひとつ積み重ねる
その姿は誰かが見てくれています



川上典子さん
(栄東木)

民生委員のことが全くわからない状態で声がかかりました。主婦の私がボランティアとして経験していたのは見守り隊の活動だけ。主人と母に相談したところ、二人とも背中を押してくれました。家族の応援があり、自分のできる範囲で、何か少しでも人の役に立てたらという気持ちで始めました。

民生委員の活動は一つひとつの積み重ねが大事ななと思います。民生委員ですっていきなり訪ねてもなかなかね。積み重ねの先に、涙ながらに「ありがとうございました」と言ってくれる人や、「川上さんよく関わってくれた」と労ってくれる人もいて、ああやっていてよかったなと思います。誰かがその頑張りを見てくれています。だから、しんどい部分もあるけども、やめたいと思うことはなかったです。

活動を通して、世の中のことを知る機会をいただいています。また、出会わなかった人とも出会えて、聞くことのなかったお話も聞けて、行くことのなかったところにも行くようになりしました。そういった部分でもありがたいですね。

大変とか言われるが、そんなことはなく、私にもできたんやからどなたでもできると思います。いろんな方になっていただいて、自分ができる範囲で、新しい関係をつくっていただく素晴らしいなと思います。

5人の民生委員さん に聞きました

活動しているからこそその出会い 普段の生活と切り替えられる時間

仕事をしながらでしたが、できんこともないかということ
で民生委員になりました。父親も民生委員だったのでどんな
ことをしているかはだいたいわかっていたんですが、やって
みると、今と昔では内容がぜんぜん違うんだなってびっくり
しました。

活動をしているおかげで、道ですれ違ったときに声を
かけてくださることもあってうれしいですね。そんなと
きにやっていてよかったなと思います。民生委員になっ
ていなかったら関わっていなかった人のほうが多いです
もんね。訪問先で家の話をしていたら回りまわって妻の
耳に入って怒られたこともあります(笑)。そういう気を
使うこともあります(笑)、嫌な思いをすることもあり

20年続いたということが楽しさの証 つながれなかった人とながれる財産

仕事を辞めたらボランティアを、また家族・親戚が市に住
んでいるので、何か恩返しをと考えていました。当時やって
いたボランティアが楽しかったので民生委員も楽しめるか
など。また、子どものころ隣に民生委員だったおばちゃん
がいて、あんな人になれるんだったらいいなと思いました。

お声かけの仕方やタイミグが難しかったり、民生委員と
いう立場をなかなか理解してもらえなかったり、難しいなど
思うこともありましたが、会うと喜んでくれる人がいる。訪問
していた方が亡くなった後、子どもさんが挨拶しに来てく
れたこともあつて。そういうと
きにやってきた
ことが間違ってたなかつた
んやなって思えます。ま
た、委員になったから仲
間が増えて、つながれな
かった人たちとつながれ
る、それは本当に財産と言っていると思います。

大北のり子さん (藤和ハイタウン)



「何が楽しい？」って聞かれたらどう答えようかって主人
に話したら、「何が楽しいとかじゃなくて、楽しいからこ
んなだけ続いたんちゃう。楽しそうにしてたで」って言うてく
れました。そんな主人もイベントを手伝ってくれたり、家族
の理解・協力のおかげで続けられました。

そろそろ私が見守ってもらわなあかなあと思います(笑)。
楽しい仲間も待っています。ぜひ経験してみてください。

お互いさまという心を大切に
私の喜びとして活動できればと思っています

退職後、数か月間はお寺を巡ったり、映画を観たりとやりたかったことを一通りしていましたが、次第に社会とのつながりを感じられなくなり、こんなんでいいのかなと思っていたところに声をかけていただきました。妻に「たまには役立つことしたら」って言われたのが決定的でした。それに、前の民生委員さんや自治会長さんがサポートしていただけたということで引き受けました。

最初は難しかったですね。どういうふうにも声をかけて関係を築いていくのか。だから、訪問するだけでなく、担当地区内を散歩したり、自治会の活動に積極的に参加するようにしたりして、自然に顔を合わせる機会を増やしました。サロン活動にも関わっていますが、参加された方がこんなことを言っておられました。「やってあげようじゃなくて、みんなが楽しんでるのがよかった」って。民生委員の活動も役目だからやるというのではなく、お互いさまという気持ちで、自分の喜び・楽しみとして活動することができればと思っています。なかなかできませんが。

民生委員になったから気づけたことがたくさんあります。ワクチン接種の予約を手助けされる方、おかずをおすそ分けされる方などがおられて、そういうさりげない親切っていいなと思いました。

いろんな人に民生委員を経験してもらえたらなと思います。できるときに無理のない範囲で。民生委員は誰でもできると思います。隣人同士の支え合いですから。



辻村隆史さん
(大野台五丁目)

ますが、やっていてよかったと思うことが多いです。だから続けられます。

民生委員の活動は普段の生活と切り替えができる時間になるのでとてもいいです。たとえば

専業主婦やリタイアした方などで、外に出る機会の少ない方や、つながりが少なくなってしまう方にとっても、民生委員の活動をきっかけとして新しいつながりをつくり、その方の本来の持ち味を発揮できていいのではないかと思います。昔は名譽職ということで、お堅いイメージを抱く方もいるかもしれませんが、今はそんなことはないですよ。まずは第一歩を踏み出してもらえたらと思います。

民生委員の活動

上田幸男さん
(東野)



なってみませんか、

民生委員に



つながりのなかにうれしさがありません
お母さんたちにぜひ経験してほしいです

上の子が2年生、下の子が幼稚園のときに始めました。民生委員はお年寄りの方を訪問するのかながらいの認識で。実際にはお年寄りの方の訪問だけでなく、子育て支援にも携わりました。保育園にお母さんたちを呼んで、先生に手伝ってもらいながら、歌や体操、紙芝居をしたり。今は、その経験も活かして主任児童委員として活動しています。児童委員と連携して家庭を訪問したり、案件に応じて学校など関係機関と連携・協力しながら取り組んでいます。各委員の活動を通して、様々な世代の人と交流してきました。子どもと関わっていたら、いつの間にか大人に成長したりして。交流のなかでそういつたうれしさができているとたくさんあります。また、子育てや介護などの研修は個人としても勉強になり、委員を辞めた人ともまだにつながっているのは貴重なことだと思っています。

しんどいと思うことがときにはあっても、周りの支えがあつてここまでこれました。主人は「しんどいしんどいって言うんやったら応援できへんけど、ニコニコしながらやっているからいい」と言ってくれています。また、子どももボランティア活動に励んでいて、少しは自分の姿を見てくれていたのかなと思うとうれしいですね。

横山まゆみさん
(主任児童委員)



ぜひ、子どもを持つお母さんに主任児童委員になっていただきたいです。学校のことがよくわかるし、違う学校にママ友ができて、学校間の交流にもつながります。思っているよりも楽しいことが待っているの、ぜひチャレンジしてみてください！



「やってよかった」あふれる魅力がそこにあります。